

高崎市

仁叟寺のカヤ

指定	県指定天然記念物 1952年(昭和27年)11月11日指定
所在	高崎市吉井町神保1295
樹種	カヤ イチイ科カヤ属
樹齡	推定 550年
樹形	樹高 22m 幹周 4.8m

故事、伝承等 (カヤの木、モクの木、五輪桜)

- 仁叟寺は室町時代の大永2年(1522年)に創建され、境内には貴重な数多くの文化財を護持している。当寺に伝わる500年の歴史を有する寺宝として本堂、本尊釈迦如来、天宮の古井戸そして初代住職(開山)お手植えのカヤがある。このカヤは実が左巻きという珍しいもので、天宮様の宿り木といわれ、火防のご神木として知られている。明治22年の地租改正による土地測量の時、多胡村の測量基準点となった。
- 落雷により樹勢が衰え、平成元年に樹木医指導のもとに腐朽部除去や土壌改良などの樹勢回復工事を行った折、空洞の中に白い羽毛のミミズクが生息しており、白蛇もいたという。今では枝が徐々に伸びてようやく実がなるほどまでに回復した。
- カヤは常緑高木で高さ25m、直径2mほどになる。樹皮は灰白色、縦に薄く割れ、繊維状に細かく剥がれ落ちる。葉は線形、先は鋭くとがり触れれば痛い。種子は開花した翌年の9月に熟す。緑色の仮種皮が種子を包み込み、種子から取れる油は食用・頭髪用になる。雌雄異株。

● モクの木

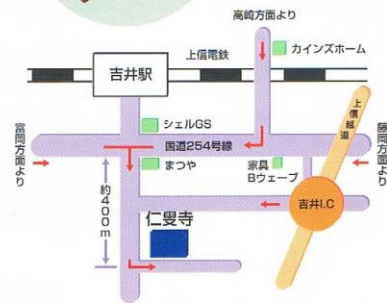
境内には高崎市天然記念物の「モクの木」と称されるムクノキの巨木がある。樹齡350年、双幹であるが幹基部には大きな空洞があり、空洞内には不定根が発生して下垂し地中に埋没している。

● 五輪ザクラ

境内北側には高崎市保存樹の「五輪桜」といわれる桜があり毎年3月下旬に濃い紅色の花が咲く。品種はコヒガンザクラである。地中より五本の幹が立ち上がった大変珍しい形態の桜である。



カヤの実



アクセス

国道254号線を西進、吉井町市街地「駅入口」信号を左折、400m先左に入る。上信越道吉井ICより車で2分。上信電鉄吉井駅より徒歩15分。